



郡山駅前の金曜行動で (9月4日)

今日の大阪の天気予報を見る。台風10号の接近でハラハラですが、何とか持ちそうです。ね。良かった！しかしながら：コロナで東京や大阪行きの実質禁止を仕事先からいわれているため、私は残念ながら参加できません。泣。

9月6日 福島から連帯！

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第16号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

せめてと、9月4日郡山駅前での金曜行動で「老朽原発動かすな！」のプラカードを作り、連帯のマイクアピールをしました。全4人。特に私が話していたのは、京都や大阪から「俺まず弛まず」若狭現地に足を運び、チラシの戸別配布をしてくださった方々の熱意と行動力、そしてリレーデモのことです。現地の人々の反応が、最初から比べれば全然違うものとなって良くなってきたことなどに、私たちの運動に必要なダイジなことが詰まっていると感じているからです。

さて、ご存知のようにフクシマは、健康被害、汚染水・汚染土問題、中間貯蔵施設

補償打ち切り、被ばく労働、オリンピック、「復興」キャンペーン……とたくさん問題噴出で、すべてを枚挙する暇がありません。

最近の福島での動きを、一ただけ報告させていただきます。「トイレなきマンション」の行きつくところ、経済産業省設置のALPS小委員会が汚染水海洋放出案を出しました。とんでもないことです。私たちの根強い議会各派への働

老朽原発うごかすな！と 安定ヨウ素剤の事前配布

「彦根・愛知・犬上 原発のない社会をつくる会」は、大阪集會に連帯し9月6日(日)11時から、彦根城中堀の交差点で、マイク宣伝とチラシ

きかけ(議員との学芸会等)で、「風評」被害の文言を入れられるなどもありながら(風評ではなく実害である)、郡山市議会は、ともかくも全会一致で海洋放出反対意見書を可決しました。8月末現在で県内自治体21ヶ所。県漁連断固反対、農林水産団体もこれから秋の議会でも反対意見はさらに増える可能性があります。あきらめずにやってみることでですね！

フクシマを繰り返すな！すべての原発を廃炉に！明日の“その日”のために、コロナを超えて共に力強く歩んでいきましょう。

(原発いらない福島の女たち
黒田節子)

配布を行いました。マイクを握った3人は次のように呼びかけました。

いま、原発そのものの良し悪しは別として、2つのこと

が大事になっている。1つは、老朽原発を動かさないことだ。隣の福井県では今4つ原発が稼働しているが、加えて、運転歴45年の高浜1号機、44年の高浜2号機、43年の美浜3号機の3つを、来年の初めから動かそうとしている。このオンボロ原発を、更に20年も動かせば事故の危険が格段に高まる。これだけは止めましょう。

もう1つは、事故の可能性がある限り放射能から身を守る方策をとることだ。高浜や大飯で事故が起きると、風速4mで、4〜5時間で放射性ヨウ素が彦根に飛んでくる。私たちは、彦根市と愛荘町、



彦根城中堀交差点で (9月6日)

豊郷町、多賀町、甲良町の議会に「安定ヨウ素剤を学校と家庭に事前配布」することを請願している。放射性ヨウ素が飛んで来るまでにこれを飲んでいけば90%甲状腺ガンを防ぐことができる。飲んでいなければガンになりやすい。しかも、1粒10円以下のわずかな予算だ。飲む飲まない、どちらを選ぶのか、市町の議員さんと首長さんは問われている。この9月4日に甲良町議会は、この請願を8対2で

採択した。

スピーカー音を聞いていたお店の女将さんが出て来たので「すみません大きな声で」と、安定ヨウ素剤のチラシ2枚を渡すと「ああそうですか。はい、はい、どうぞ」と好意的な様子でした。途中、台風の大雨が降りましたが、めげずに宣伝を続行しました。

(彦根・愛知・犬上
原発のない社会をつくる会
事務局長 杉原秀典)

老朽原発うごかすな! 大集会に連帯

自立労働組合連合は結成以来、総会を9月の第1日曜日と決めており、40年間変わることなく開催してきました。5月17日に予定された集会在延期になった時から、9月6日の集会には参加できないなあ、と残念に思っていました。でも、実際に参加できなくても、ツイッターデモや、各地での連帯行動もできるよね、というアイデアが流れて



組合総会後の連帯アピール

くる中、私たちも何かできる

来年初めにも美浜原発3号機と高浜原発1号機の再稼働を目論む関西電力を前に、9・6集会の成功は、闘いの始まりでこそあれ、これで終わるわけにはいかないだろうという代表的な意見のもとに、この実行委員会を続けていくことが全体の意思として確認さ

9月20日、「9・6老朽原発うごかすな! 大集会」のおおさか」の総括と今後を決める第7回実行委員会が開かれました。

9月20日、実行委員会が開催され闘いを継続することが決まる

来年初めにも美浜原発3号機と高浜原発1号機の再稼働を目論む関西電力を前に、9・6集会の成功は、闘いの始まりでこそあれ、これで終わるわけにはいかないだろうという代表的な意見のもとに、この実行委員会を続けていくことが全体の意思として確認さ

たいという情熱は、どんな壁も乗り越えて心をつないでいくのだと思います。連帯の力を信じて、これからも共に歩みましょう。

(自立労働組合連合 中央副執行委員長 服部恭子)

毎 日 新 聞 2020年(令和2年)9月5日(土) 福井 24



「老朽原発うごかすな」プラカードを持って高浜原発1、2号機の再稼働反対を訴える市民団体のメンバーら—高浜町役場前で

「老朽原発うごかすな」

高浜町役場前 市民団体が訴え
運転開始から40年を超えた高浜原発1、2号機と美浜原発3号機の再稼働を関西電力が目指しているのに対し、県内の反原発グループが4日、高浜町役場(同町宮崎)前で「老朽原発うごかすな!」と書いたプラカードを持って立つ「スタンディング行動」を行った。関西の複数の市民団体が6日に大阪市西区で大規模な「老朽原発うごかすな! 大集会」を計画しているのを呼応した。

【大島秀利】
高浜町役場前 市民団体が訴え
を超えた高浜原発1、2号機と美浜原発3号機の再稼働を関西電力が目指しているのに対し、県内の反原発グループが4日、高浜町役場(同町宮崎)前で「老朽原発うごかすな!」と書いたプラカードを持って立つ「スタンディング行動」を行った。関西の複数の市民団体が6日に大阪市西区で大規模な「老朽原発うごかすな! 大集会」を計画しているのを呼応した。

の発行をそのために継続する。関西電力が取締役会を9月28日に美浜の原子力事業本部で行うことに対し、明らかに地元対策であるということと緊急の抗議闘争を企画することなどが確認されました。

(M)